

『プロメテウス』54号校正

頁	段落	場所	誤	正	備考
9	下後1	後4行	なしていないの <u>が</u> だ	なしていないの <u>だ</u> が	
10	上2	5行	「知識 <u>職業</u> 」	「知識 <u>産業</u> 」	
12	上2	後6行	語っているの <u>すぎ</u> ない	語っている <u>に</u> すぎない	
12	上2	後5行	天皇（や官僚 <u>が</u> ？）が	天皇（や官僚？）が	
13	下1	2行	かた <u>つ</u> けておく	かた <u>づ</u> けておく	
17	下3	後2行	豊かな者が <u>が</u> 決定	豊かな者が決定	
24	下2	後5行	可能的な資本 <u>し</u> ての	可能的な資本 <u>と</u> しての	
25	上3	3行	理解は <u>し</u> ていないのである	理解して <u>は</u> いないのである	
26	下後1	後4行	やるべきで <u>な</u> はい	やるべきで <u>は</u> ない	
28	上2	3行	〔生産物＝一般商品の <u>こと</u> <u>と</u> 林〕	〔生産物＝一般商品の <u>こと</u> <u>と</u> 林〕	
29	上1	後2行	事実上言うの <u>だ</u> か	事実上言うの <u>だ</u> が	
29	下1	2行	決定 <u>手</u> に重要な	決定的に重要な	
30	下1	3行	農奴の地位から賃金労働者 の <u>転</u> 化した	農奴の地位から賃金労働者に 転化した	
31	上後1	後4行	よって <u>に</u> み	よって <u>の</u> み	
31	下2	3行	“無産 <u>の</u> ”の労働者 <u>に</u> は、それ 以外の「所有物」を持たな いからこそ	“無産”の労働者は、それ以外 の「所有物」を持たないからこ そ	
31	下後2	後1行	おしゃべり <u>ふ</u> けている	おしゃべり <u>に</u> ふけている	
32	下1	後3行	真実に <u>、</u> 口をとぎす	真実に口をとぎす	
36	上2	5行	生じない <u>こ</u> からも	生じない <u>こと</u> からも	
37	下後1	5行	いかにしてそれ国家形成に つながるか	いかにしてそれが国家形成に つながるか	
38	下後1	6行	なることができ <u>と</u> いった	なることができ <u>る</u> といった	
40	上2	後1-2 行	神野の言う「要素」とは、つ まり「土地、労働、資本」と いうブルジョア経済学でい う「生産の三要素」の <u>こと</u> である。	下段第2パラグラフの後に第 3パラグラフとして挿入	左記2行を移動。
41	上後1	後4行	少なくとも、その一部	少なくとも <u>も</u> 、その一部	
41	下後1	4行	いんちき性 <u>ど</u> うであろうか	いんちき性 <u>は</u> どうであろうか	
42	下2	5-6行	「健全財政」 <u>な</u> ど <u>ど</u> いうもの は	「健全財政」 <u>な</u> ど <u>ど</u> いうものは	
44	下1	1行	<u>収入</u> が <u>支出</u> を超えてはなら ない	<u>支出</u> が <u>収入</u> を超えてはなら ない	
44	下2	3行	神野の理屈は…… <u>勧</u> めるの であって	神野の理屈は…… <u>勧</u> める <u>も</u> の であって	
47	上2	1行	神野は <u>言</u> わせると	神野 <u>に</u> 言わせると	
47	上2	7行	今後 <u>の</u> この政策を	今後この政策を	
48	上2	4行	目指 <u>さ</u> す	目指 <u>す</u>	
50	上2	4行	まあ大目 <u>見</u> るとしても	まあ大目 <u>に</u> 見るとしても	
52	下2	2行	『質』を <u>追</u> 及する産業	『質』を <u>追</u> 求する産業	
53	下2	後4行	争い得る <u>う</u> ような	争い得る <u>よ</u> うな	

頁	段落	場所	誤	正	備考
54	上後2	後3行	考えるの <u>同様な</u>	考えるの <u>と同様な</u>	
54	下後1	後1行	一掃する <u>する</u>	一掃する	
55	上後2	4行	一方が重化学工業あり、他方が……「知識集約産業」といった区別をしてみても	一方が重化学工業 <u>であり</u> 、他方が……「知識集約産業」 <u>である</u> といった区別をしてみても	
55	下後1	1行	取り上げる <u>て</u> みるなら	取り上げてみるなら	
56	上1	10行	衰退の道に <u>たどり</u> つつある	衰退の道 <u>を</u> たどりつつある	
56	下2	後3行	「知識産業」を核する	「知識産業」を核 <u>と</u> する	
56	下後2	3行	「健康」の維持を <u>意義</u> を説く	「健康」維持 <u>の</u> 意義を説く	
58	上	3行	業者と <u>の</u> 癒着し	業者と癒着し	
58	上	5行	労働組合出身議員が閣僚に <u>など</u>	労働組合出身議員が閣僚に <u>なる</u> など	
58	下	後4行	野田桂彦	野田佳彦	
59	上後1	3行	田中 <u>角栄</u> が総辞職	田中 <u>内閣</u> が総辞職	
59	上後1	5行	松下グルー	松下グルー <u>プ</u>	
59	下1	2行	塾の講師には…… <u>たち</u> であった	塾の講師は…… <u>たち</u> であった	
59	下2	4行	親からの地盤引き継いだ <u>二</u> 世議員	親からの地盤 <u>を</u> 引き継いだ <u>二</u> 世議員	
59	下2	後5行	自民党と民主党と <u>大</u> 差はない	自民党と民主党に <u>大</u> 差はない	
60	上2	2行	塾出身の……なると、 <u>政経塾</u> は当初の5年の養成の義務付けは空文化していった	塾出身の……なると、当初の5年の養成の義務付けは空文化していった	「政経塾は」を削除
61	上後1	2行	組むこと余儀なくされた	組むこと <u>を</u> 余儀なくされた	
61	上後1	3行	衆院選の約1年後に行われる <u>参</u> 議院選挙	衆院選の約1年後に行われた <u>参</u> 議院選挙	
61	下2	6行	副会長、そして	副会長 <u>を</u> 、そして	
61	下後1	後3行	選ら <u>んだ</u>	選 <u>んだ</u>	
62	上後2	後3行	各協会は交付金のうち……上納され(……)てきた	各協会 <u>へ</u> の交付金のうち……上納され(……)てきた	
63	上後2	1行	どこに公共事業実施するかの	どこに公共事業 <u>を</u> 実施するかの	
64	下後1	後2-1行	小沢は……君臨するために <u>民主</u> 党の参院選挙の勝利のために動いた	小沢は……君臨し、 <u>民主</u> 党の参院選挙の勝利のために動いた	
65	上2	1-3行	彼らは小沢の……小沢の選挙戦術について何の疑問や批判を発する <u>の</u> でもなく	彼らは……小沢の選挙戦術について何の疑問や批判を <u>も</u> 発することなく	最初の「小沢の」は削除
65	上2	後5行	何の決着が <u>ついて</u> いない	何の決着 <u>も</u> ついていない	
66	上1	2行	政治収支報告書	政治 <u>資金</u> 収支報告書	
66	上2	後4行	積極的 <u>に</u> 支持された	積極的 <u>に</u> 支持された	
67	下1	2行	労組出身議員はそれぞれの <u>主</u> に出身労組から	労組出身議員は <u>主</u> にそれぞれの出身労組から	
67	下2	3行	企業から <u>から</u>	企業から	
68	上1	2行	若手議員 <u>の</u> よる	若手議員 <u>に</u> よる	

頁	段落	場所	誤	正	備考
69	上2	1行	NTT労組その典型的な例	NTT労組はその典型的な例	
69	下1	5行	立候補当選	立候補して当選	
69	下1	後4行	温室ガス	温室効果ガス	
69	下1	後3行	と反発として	と反発して	
69	下2	1行	出身労組と関係のある株	出身労組と関係のある <u>企業</u> の株	
70	下1	2行	懐柔来	懐柔策	
71	上2	5行	宣伝すること労働者の組織として	宣伝することは労働者の組織として	
71	上2	後3行	押し付けでなしえない	押し付けではなしえない	
71	下2	後3行	搾取、抑圧に	搾取、抑圧に	
72	下1	後4行	業者との癒着し	業者と癒着し	
73	上1	2行	福田首相と密裏に	福田首相と <u>秘密裏</u> に	
73	下3	2行	米国との連携できなければ	米国との連携ができなければ	
74	上2	1行	集団的自衛権について「集団自衛権	集団的自衛権について「集団的自衛権	
74	上3	1行	“脅威”を口実を唱え	“脅威”を口実に	
74	上後1	1行	「さらに	さらに	“「” 削除
74	下後1	4行	宗教が広める	宗教を広める	
75	上1	3行	労働者の問題意識と一致点などありはしない	労働力の問題意識との一致点などありはしない	
75	上2	後4行	もってまわってまわってといる	もってまわっている	
75	上後1	1行	どんな期待や信頼を瞬時たりとももつことはできない	どんな期待や信頼をも瞬時たりとももつことはできない	
75	上後1	2行	労働者の階級的な政党の建設に向けて意識的に追求していくことこそが、今問われている	労働者の階級的な政党の建設を意識的に追求していくことこそが、今問われている	
80	下1	7行	猿人→原人→旧人	猿人↓原人↓旧人	矢印の向きを下向きに（縦書きのため）
82	上1	6行	間接的な「概念」という直接的な「経験」とを	間接的な「概念」と直接的な「経験」とを	
85	上2	後3行	もちろん「未開社会」にも	もちろん「未開社会」にも	
90	下1	6行	出来のは	出来るのは	
91	上1	後1行	等 <u>など</u> 。	等々。	
98	上1	1行	西欧に <u>送</u> れて	西欧に <u>遅</u> れて	
99	上1	後1	「偶然の作	「偶然の作用」の結果であるに <u>過ぎない</u> 。	2、の見出しの後の1行を第1段落の最後に続ける。
99	2、見出しの後1	1	<u>用」の結果であるに過ぎない</u> 。	（2、の見出し前の第1段落の最後に移動）	
99	下後1	後2行	いっていると同じ	いっていることと同じ	
101	下2	後2行	<u>変</u> わりに	<u>代</u> わりに	